

## Before

お客さまの定期監査で…

取引先

カメラで  
入退室の記録を  
残していますか？

入退室管理は  
どのような方法で  
行っていますか？

セキュリティレベルの高い  
環境を求められている…



セキュリティ管理体制を強化する必要があった

社員たちの入退室  
管理はどうやって  
いくべきだろう…



社員

来訪者

入退室管理簿  
企業名、氏名、  
入退室時間 etc

こちらにご記入を  
お願いいたします

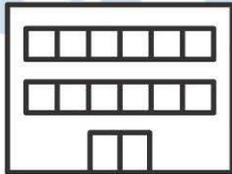
承知しました

入退室管理は来客時のみ

ビルの  
築年数

オフィス  
利用規約

高額な  
工事費用



オートロックにしたい  
けどオートパスベックに  
なってしまう…



導入費用も施工箇所も  
もう少し柔軟に考えたい

設置工事を伴うシステムの導入は難しい

## 事例に学ぶ

# 下町

## CASE 54 導入

入退室管理システム

### Akerun

※費用は設置台数によって変動します。

導入の決め手：

- ・後付けができる
- ・ランニングコストが抑えられる



## 株式会社ヘルツ

〒760-0050  
高松市亀井町8-11  
高松プライムビル4F  
TEL: 087-887-0168  
URL: <https://hertz.ne.jp>

ホームページ



ウェブ情報を取り扱うプロフェッショナルとして戦略に基づいた企画・設計・運用・改善まで幅広くサポートしています。

株式会社ヘルツは1998年創業の老舗ウェブサイト制作会社。ホームページ制作をはじめウェブサイトの解析や分析を通じたコンサルティング等を手掛けています。創業当初、業界は黎明期と呼ばれ、お客さまは大手企業や自治体を中心。情報資産が適切に守られているか等をチェックするために定期的な監査が行われていました。「当時、オフィスはアナログ鍵を使用。日中はほとんど鍵の開け閉めをしていなかったです。また、従業員も少なかったため入退室管理は基本的に来客者のみ。企業名や氏名、入退室時刻等を紙の管理表へ記入していただく程度でした。しかし、世の中のセキュリティ意識が徐々に高まってきたことで監査の中でもセキュリティ管理体制の強化が求められるようになってきました。その頃から当社でも入退室管理システムの導入を考えはじめました」と山崎社長。

## 入退室管理システム Akerun

アkerun

- 鍵部分に貼り付けるだけで入退室管理・オートロック搭載の扉へ  
→簡単に原状回復ができる
- 防犯カメラと組み合わせることで共連れ防止に
- 外部の勤怠管理システムとの連携も可能 etc

実際に使用している  
Akerunがこちら!



### 入退室記録が自動で残るようになった



誰が、いつ入室・退室したのかが一目瞭然に

### 初期費用を大幅に抑えてシステムを導入できた



配線工事や新しく扉を変える必要無し!

## 効果を実感!

### 経営者コメント

最近では家電量販店でもさまざまな種類のスマートロック機器が販売されています。そのため、入退室管理はセキュリティ対策の一環として比較的取り組みやすいかもしれませんね。当社が使用しているAkerunは管理会社のサポートが手厚く10年以上も使い続けています。オンラインを通じてシステムのアップデートやメンテナンス等ができますから買い切り型にはない安心感があっておすすめです。



株式会社ヘルツ  
代表取締役

山崎 正宏 さん

### 効果1 鍵の管理コストや紛失リスクが軽減

アナログな鍵を複製・貸借する必要がなくなり鍵の管理コストが軽減した。また、管理者にのみ簡単に入退室権限の発行・剥奪が可能に。紛失した場合にも即時対応ができるようになった。

### 効果2 セキュリティ監査がスムーズに受けられるようになった

セキュリティ対策が強化されたことで監査がスムーズに受けられるようになった。また、現在はお客さまからのさらなる信頼獲得に向けてプライバシーマークの申請準備に取り組むことができています。

### 効果3 機器の設置個数が柔軟に調整できる

機器はレンタル品のためオフィスの増改築や移転に合わせ、設置個数を増やしたり減らしたりと調整が容易。システムの無駄な固定費を抑えることへとつながっている。

扉が開いたままだったり、機器に異常が検知されるとシステム管理会社へ自動的にアラートが届く仕組みになっています!



ついて語りました。

導入したのは工事不要の後付け型入退室管理システム。オートロック機能を搭載し、入退室履歴が自動で記録されるようになったことで不正侵入、情報漏洩を防止しています。現在はオフィスのオープンスペースと執務スペースの境界に位置する扉(3カ所)へ設置されています。また、パソコンの管理画面から交通系ICカードやスマートフォン等へ簡単に合鍵権限を発行・剥奪が可能です。鍵の紛失リスク軽減にもつながっています。同社のIT導入はセキュリティ対策を強化し、取引先への信頼性向上に寄与しています。

「当社としては今後も時代の波に合わせて柔軟に物事を検討・対応していく必要があると考えています。ウェブ制作業界は常に新しい技術が更新され将来の見通しが立てにくいもの。これまでもフィーチャーフォンからウェブ閲覧可能になったり、スマートフォンが登場したりと大きな転換期がありました。最近では主要検索エンジンへのAI機能の搭載が急速に進んできています。そういった意味ではAI最適化戦略についても考えていく必要があるかもしれません」と山崎社長は将来について語りました。